

令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：大阪府立臨海スポーツセンター

評価項目	評価基準（内容）	評価委員会の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
Ⅱ さらなるサービスの向上に関する事項 (2) 自主事業	① さらなるサービスの向上の取組み	自主事業の参加者数低迷に係る外的要因を検証し、改善に向けた効果的な手立てを講じること。	自主事業の数値目標との乖離要因として、プロポーザル時と現在との状況の変化（感染症や物価高騰等）が考えられる。年々回復傾向にあるものの、生活様式が変化したこともあり、依然として厳しい状況が続いている。 新規自主事業参加者増加のための取り組みとして、府内小中学校へのチラシ配布や、SNS等メディアを活用した広報を積極的に実施する。また、各種教室のキャンペーンの実施や、既存事業の見直し、新たな教室の開講を計画することで利用者層の拡大を図る。	自主事業の数値目標との乖離要因として、プロポーザル時と現在との状況の変化（感染症や物価高騰等）が考えられる。 改善に向けた手立てとして、府内小中学校へのチラシ配布や、SNS等を活用した広報強化を積極的に実施するとともに、各種教室のキャンペーンの実施や既存事業の参加者傾向（動向）を検証し、新規事業への入替等事業の見直しを行う。 また、新たな参加者獲得のため、新事業として、海外で人気のニュースポーツ（ピックルボール等）の体験教室を計画するなど、自主事業の利用者数増加及び収入の確保に努める。